

## 第5回 ひろしま医工連携サロン 開催報告

ひろしま医療関連産業研究会では、本年度の第5回医工連携サロンを開催しました。

今回は、「デザイン思考を用いて(ニーズを創出する)体験ワークショップ」というテーマで開催し、医療者から示されたニーズを事業コンセプトに落とし込むデザイン思考の手法について解説いただいた後、医療関係者などを交えて、問題点(課題)を含む医療現場の写真を用いたニーズ分析手法のグループワークを行いました。

【日 時】 平成30年12月7日(金) 14:00~17:00

【場 所】 広島県情報プラザ (広島市中区千田町 3-7-47)

【内 容】 (一社)日本の技術をいのちのために委員会 専務理事 大浦 イッセイ 氏  
『医療者から示されたニーズを事業コンセプトに落とし込む際のポイント』  
森ノ宮医療大学 准教授 西垣 孝行 氏  
『写真を用いたデザイン思考でのニーズを創出する体験ワークショップ』  
グラフィックレコーダー 大道 レイチェル 氏

【出席者数】 36名 【企業数】 10社14名 【医療関係者】 6施設7名

### <アンケートの主な意見>

- デザイン思考に触れられて勉強になった。
- 考え方や視点を変えるきっかけになった。
- ニーズとウォンツの違いが理解できた。
- グループワークを通して、ニーズ深掘りの理解が深まった。
- 実際に医療現場で働かれている方々と交流ができて、貴重な意見を聞くことができた。



<サロンの様子>

### ○ひろしま医工連携サロンの趣旨

ひろしま医療関連産業研究会では、医療機器や福祉介護機器関連の事業参入に取り組みされる会員企業等を対象として、新たなプロジェクトの創出やネットワークづくりのきっかけ、個別プロジェクトの事業化の促進に寄与することを目的として、会員企業のニーズに沿ったテーマで「ひろしま医工連携サロン」を開催しています。